

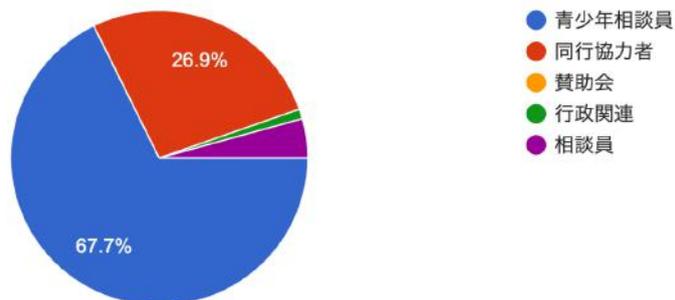
第39回オーバーナイトハイク参加後アンケート(運営)結果まとめ

夏のつどい部

回答数:93

<回答者の属性>

相談員67、協力者25、行政1

回答者の属性
93件の回答

<名前>

省略

<学区>

省略

<ONH運営の役割>

ONH運営の役割
93件の回答

内訳:

会長と同行	1
休憩所(スタート・ゴール・運搬含む)	14
救護(救護車・救護本部)	10
広報	3
同行(歩行)	58
本部	2
誘導(バイク誘導・車での誘導)	5

<来年に向けた全般的な意見>

良かった

- 準備が入念に行われていて安心して運営できたことはよかった
- もし次年度も開催するのであれば、今年のをベースに微改善だと記憶と時間で助かります
- 学区費とオーバーナイトハイク費用の違いと、費用の使い方のルールがわかりました。
- 第39回ONHは、賛助会をはじめ多くの地域の大人が同行協力者として参加してくれました。「地域の子どもは地域で育てる」まさにモデル事業になったと思います。地域の大人を巻き込むことで、相談員の知名度もあがり、相談員に成りたいと思う人もいるかもしれませんね。また、柏市もONHの大切さを再認識すると思います。運営面の難しさもあると思いますが、今後も地域の大人を巻き込むことに期待しています。
- 子供達に成功体験をしてもらおう。辛かった思いも経験をしたから分かる思いである。こういった方針はこれまでの学校教育とは一線をかし、子供達の心の成長に大きく寄与すると思いました。完歩に向けて直向きに歩く姿、完歩後の子供達の笑顔は本当に素晴らしいです。来年もよろしくお祈りします。
- 来年40回に向けて、早めの打合せスタートをお願いします。
- 皆んなが気持ちよく、楽しくできたらと思います。
- 昨日のうちに参加生徒さんの各ご家庭に生徒さんへの労いと完歩おめでとうと言う事とご家庭のご協力への感謝をお伝えさせていただきました。皆さんとてもいい経験が出来たと言う喜び。我々への感謝。いただきました。皆様の努力の賜物だと思います。ありがとうございました。
- 開始の受付しかいることは出来ませんでした。子供たちの楽しそうな顔が見れたのが本当に印象的です。また来年も出来たらと思います。運営の方々本当にありがとうございました！
- 来年度以降も続いてほしいと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- 来年以降の開催も多難でしょうが、より多くの中学生に参加いただきたい夏の思い出ですね。
- 保護者からも温かいメッセージをたくさんいただきました。辛いけど得られる物もたくさんあるこのONHをこれからも続けて欲しいと思いました。
- これから主催者としての責任はますます重くなります。柏市から委嘱をされ柏市から補助金をいただいている以上、もちろん協議はしますが柏市の指示には従うしかありません。子ども達を歩かせてあげたいと頑張っている私達には頭にくることが多いですが、もし中止ではなくやめた場合、夜に中学生を歩かせる事業に柏市は二度と許可を出しません。事故なく39回の信用があるからつづけられるのです。来年はセンターが使えませんが、第40回記念ONHやりましょう！

改善／要検討

- お天気次第のところがあるので、毎回開催可否判断が難しいですね。暑くて大変でしたが、雷雨がなくて本当に良かったと思えました。
- 土日祝が仕事でほとんど参加できませんでした
- 下見、全体会を通して、感じた事ですが。もう少し声を大にして仕切ってくれと、みんな、ついて行きやすいかと思いました。
- 安全面の確保の為に、市内の高校生や大学生等にボランティアをお願いするなどすれば、社会の中で役割を得て責任感を持って全うするという事まで学べるので、より大きな繋がりに拡がると思います。ご検討ください。
- 休憩所で子供達にマッサージやったが、どこを揉んだら有効か分からずなので、全体説明会等で、知識共有して欲しい
- オーバーナイトハイクが実施出来る環境である事の有り難みをもっと伝わると良いと思いました。
- 参加した子供の感想・15kmほどのコースであれば、参加する側の負担が少ない・友達と長時間しゃべれる喜び、達成感が得られる範囲を超えている・例えば、15kmの距離で終電で帰れる時間にスタートするとか
- 運営側、参加者側の負担を減らせるよう歩行距離、コースの見直ししてはどうかと感じました
- 今回は要救助者が多かったと聞きます。来年はコース短縮とかも、考慮すべきなのかとも思います
- 今年実施できたことで21期の相談員も経験値が増えました。来年はどうするかを考えたいですね。
- 何故、三中学区が昨年、今年もたくさん参加者がいたのか、特別なことはしていないのに、理由が知りたい。
- もっとたくさんの子供達に参加してもらいたいです

- 来年絶対開催させたいですね！
- LINEに頼るようになってきたので通信障害があったら怖いなーと感じました。(休憩所)

良かった、来年も続けたいこと

- 入念な準備
- 今年をベースに微改善で
- 費用の使い方を引き続き徹底
- 協力者ほか地域の大人をどんどん巻き込んでいく
- 来年度もONHを開催

改善できること

- 全体会や下見での伝達する声を大きく
- 休憩時のおすすめ(マッサージ方法・テーピング他)を事前にさらに周知

検討事項

- 高校生や大学生のボランティア募集(昔から検討していることだが改めて)
- コース距離の短縮(15km程度、終電で帰れる時間)
- 三中の参加者が多かった理由の調査(学区にて)
- 土日が仕事の人への協力依頼方法や巻き込み方
- スマホ電波障害 or LINE障害など発生時のバックアップ連絡手段(万が一への備え)

<全体会>

良かった

- 今回の全体説明会が滞りなく終わり、記念撮影もしたり全員の気持ちが団結したのが良かったです。
- コンパクトで要点が理解しやすく、当日へ向けての大切な準備日となりました。
- 「子どもたちの安全のため」に長年活動しているベテランの相談員さんたちでも入念に打ち合わせや確認をして準備を進めていて頭が下がりました。大所帯なので、一人一人がしっかりと理解して行動しないとイケないんだなと感じました。分かりやすい説明、相談員さんたちが団結していてとても良い雰囲気が伝わってきました。
- 全体会、分かりやすく良かったです。

改善／要検討

- 全体説明会はスピーチの練習が必要だと感じた。
- 説明が長いと感じます。来賓の挨拶は不要ではないでしょうか？
- 全体会は、もっと後の時期でも良いのでは？本番まで1ヶ月以上あるので、本番前に忘れてしまうところがある(同行の注意事項とか)。
- 7/9全体説明会で投影のみの資料があったので、共有いただけるとなお良かったです。
- 昨年と違い全体説明会の会場がセンターだったのでせまく感じました。学区の席の確保が難しいと思いました。
- 全体説明会の説明がもう少し短くても良かった。
- 全体に説明する事と担当に説明する事をちゃんと分けて、担当での時間をもう少し長く取って欲しいと思いました。
- 全体説明会(学区説明会まで余裕がなかったので、もう少しだけ早い日程だとありがたかったかも。)
- 正直相談員の方々の確認の場のように、初めて参加する者にとっては、最初から最後まで何が何やら分からないままでした。逆に不安になった気がしました。
- 説明は、かなりマニュアル化された感があり、丁寧で良かったと思いますけど、結構細かいところまで、しっかりと詰め込まれていたのが、現役ではない自分にとっては覚えることが難しいかもと思いました。(同行協力者)
- 全体説明会で、同行者の詳しい仕事内容は分科会でお話ししていただければと思いました。
- 場所の関係もありますが、スクリーンが邪魔して話している人の顔が見えませんでした。

良かった、来年も続けたいこと

- 全体会で気持ちを団結させるイベント(記念撮影)
- コンパクトで要点が理解しやすい説明
- 入念な打ち合わせ準備
- 一人一人が理解して行動すること

改善できること

- 全体会説明のスピーチの練習
- 資料の共有の改善(特に投影のみ配布無しの資料)
- 全体への説明を減らし、分科会での説明を充実

検討事項

- 全体会での来賓挨拶の削除
- 全体会の実施時期(もっと早く or もっと遅く or 今のまま)
- 全体会の会場スペース(もっと広い場所の確保可否)
- 初めて参加する人への情報量や提供方法の改善
- 覚えることのシンプル化、要点の伝え方の改善
- 全体会のスクリーン位置の改善

<休憩所での水分補給、完歩パン>

良かった

- 水が足りないと思われた中余っていた
- 水やジュースの温度はちょうど良かった。
- 休憩所で水がもらえたこと、空きペットボトルを捨てられたことがありがたかった。
- 暑かったのが水が冷えていてありがたかった！！子どもたちも冷たい水を喜んでいました。
- 完歩パン (注:良かったというご意見)
- 各休憩所での水、ゴールでのパンとジュースは美味しかった。水温もギリギリ快適。
- 完歩パン とてもおいしかったです

改善/要検討

- 今回は気温、湿度も高く下見の時と比べても汗をかく量がかなり多かったです。手持ちの飲み物だけでは足りず休憩所で配って頂いた水もかなり飲んだのですが、私自身歩いている途中で足がつりながら歩きました。水分はかなり摂っていたのですが塩分不足だったみたいです。塩分チャージで何とかしのぎましたが、これほどの湿度の中で歩くのは思ったより汗が出てしまっているという事から、熱中症対策として配布する飲み物を水だけではなくてスポーツドリンクを混ぜた方がいいのではないかと思います。水かスポドリを選ぶ様にするとか。
- 提供される飲み物。水だけではなく何か味があるものが欲しいと言う声もあったし、自分も体力回復の為にアクエリアスとかも途中で欲しいと思いました。
- 一つだけ言うなら、完歩パン、予算もあるとは思いますが、もう少し美味しくなりませんかね？
- 熱中症と足のつり対策で、スポーツドリンクはやはり欲しかった。スタート時に多めに持っていても途中でなくなり補給は水のみなので、塩分補給の手段が狭まり後半が体や足が辛くなる。

良かった、来年も続けたいこと

- 休憩所やゴールでの水やジュースの提供(温度も良かった)
- 休憩所での空きペットボトルの回収
- 完歩パン

改善できること

-

検討事項

- 休憩所での配布に水だけでなくスポドリも追加(塩分補給)

完歩パンの味改善？

<広報、写真撮影>

良かった

- 広報にて各グループに一人ずつ広報部が配属できたので、事前準備の打ち合わせから厚みのある撮影ができました。
- ゴールの瞬間のやりきった表情は写真を撮る側としても、ぐっとくるものがあります。
- 休憩所にいると、全体の様子や進行が見えないので、すぐにホームページにアップされて見られたので良かった。広報さん、ありがとうございます！

改善／要検討

- 広報部として。夜間撮影のコツを共有できるとさらにいい写真が撮れると思います。
- 隊列が長くなってしまっていたこともあり、次の撮影スポットに間に合わなくなってしまうことがあった。
- 写真は、先頭ばかり撮って後ろの列はあまり撮ってもらえなくて同責の私は寂しく感じました。
- 最初と最後の写真だけではなく、各ポジションや学区ごとの写真を撮って欲しかった。少しでも親御さんや生徒達に共用しようと個人的に取りましたが...
- 打ち合わせでの変更点等が当日までにうまく伝わっていないところがあった。

良かった、来年も続けたいこと

- 撮影人数を増やして厚みのある撮影を実現
- 写真をすぐにホームページにアップ

改善できること

- 広報部内での夜間撮影のコツの共有
- 隊列が伸びた時の対応方法の事前検討
- 事前打ち合わせでの要点を広報メンバーへ確実に伝達

検討事項

- 全員を撮って欲しいという要望への対応検討(隊列が長くて撮影しきれない?)

<下見>

改善／要検討

- コース下見は土日に仕事がある場合、重荷です。
- 予行歩行は全体的に休憩時間が細かく短かったので、かなり大変でした。

検討事項

- 下見での休憩時間の確保(急な天候変化への対応 vs 休息をしっかり取ることのバランス)

<コース>

良かった

- コース変更はとても良かったと思います！

改善／要検討

- 第一休憩所の前ルート変更が変更になった事(セブン)同行の方がルートを覚えていないと、隊列が分断されると大変なので下見でルートの変更がある時は、学区内での共有をして欲しい。

- 布施のセブンの先の右折するポイントが夜間だと見えづらく、もう少し目立つ目印があった方が良いと思います。

良かった、来年も続けたいこと <input type="checkbox"/> 布施セブンのコース変更
改善できること <input type="checkbox"/> コース変更などの重要情報のさらなる周知徹底
検討事項 <input type="checkbox"/> 布施セブンの右折ポイントをもっと目立つようにする方法

<誘導・看板・草刈り・レンタカー>

良かった

- 土手の除草のお陰で歩きやすかったです。(多数)
- 行政や当日のバイク隊の皆さんの草刈りや、救護隊による看板設置のおかげで安全安心歩行ができました。ありがとうございました😊
- 下見のとき草が生い茂っていたところが綺麗に狩られていて歩きやすかったです。
- 歩きづらいと思っていた市立柏～流通経済柏の間に歩道の狭い箇所や危険なところにコーンや赤色灯など目立つ工夫がされていたので助かりました。
- 当日の看板設置、レンタカー借り上げ、救護車準備、予定どおりで順調でした
- 田中北から香取神社間の折れた竹は想定外でしたが、各バイク隊でベターな対応が出来て良かったです。
- レンタカー店舗での自分の車との入れ替えはとても助かりました。
- 4年ぶりにキャバクラの払下げのステ看板設置が楽しかったです。
- 看板設置は特に問題なく、取付できました。Cグループは(バイク)3人体制だったので、今年度の簡略版ではなく、昨年度のマップで配置につきました。今年のグループ人数であれば、3人でちょうどだと思います。
- Bのバイク隊はベテラン揃いで、余裕があり、隊列も伸びなかったので追加で要所要所で立てました。
- 誘導はかなりわかりやすかったです。
- 同行以外の各担当の方も要所要所での声かけをしてくれていたの、子どもたちも励みになったんじゃないかと思います。
- 常に先回りして足元やポールなどの危険箇所を教えてくださいましたので、安全に進めました。
- 田中北小交差点の誘導は、下見の時は心配だったが、わかりやすかった。
- 誘導含め声掛けしていただくことで励みになった
- 誘導の際、同行先頭～後尾と声掛けをしっかりとしたので、うまく全体を把握し案内が出来たのだと思います。静かに歩くべき所や先頭と後尾のタイム差連絡など、なかなか上手に進行しました。でも一番は子供達の元気さでしょうか♥(バイク隊)
- レンタカー屋を変えたので早く返せるようになって良かったと思います。
- 誘導は手厚く助かりました。

改善／要検討

- 当日の草刈りは、刈った草を綺麗にするために、🪒が必要だと思いました。
- 途中、各所雑草が生い茂り歩道を圧迫している箇所がありました。2～3人で列を組みながら歩くため、歩道の確保が出来ればより安全に移動が可能になると思います。特に気になったのは私有地から伸びている雑草でしたので事前準備の段階で確認、役所に対応協力をお願いする等必要があるかと思います。
- バイク隊の方、当日の草刈り、本当にお疲れ様でした！あの作業がもう少し楽になる様に、草刈り用の機械があると嬉しいですね。
- 全体会に不参加だったのがいけません、フォローが少しでも良いので欲しかったです。初めての担当部署で下見の時どうすべきか前日に気付いてこちらから連絡をとり事なきを得ました(開催日当日・午前の動きも2日前に知り、急遽時間を空けました)。(バイク隊)
- 土手中央のライトを早めに着けて欲しいです。今回湿気が多くて見通しが悪かったので1度通り越してしまいました。(救護車)
- 土手入口の橋の手前は取り付ける場所がなく、単管パイプを持参して、打ち込んで設置しました。

- タイヤ館の近所に設置した看板の文字と矢印が見つらなかった。パステル調ではなく、メリハリのある色でお願いしたい。
- 16号線の大青田陸橋を渡って流経の道に合流する角について、通行車両も多く、細いガードレール内に誘導する必要があるため、誘導ポイントに加えた方が良いと思います(昨年度、今年度のマップにも配置予定はなし)
- バイク隊のバイク、救護車の車両には、出来れば隊列に近づく時に、スピードダウンは勿論、一般車両と区別する為にも、ハザードを付けて近づいていただけると安心できるかなと感じました。
- 案内板を照らすライトが暗くて意味無かったかと...もう少し明るい方が良いかと
- コース案内の看板が思ったより目に付かなかった気がします。
- 受付時の免許証確認。提示義務の旨、何も知らされていませんでした。初めての人間もいるので、資料に表記と共に事前案内が欲しかったです。事前にスマホで撮っておいた免許証画像の提示で良いのもおかし。当日不携帯であったり免許停止になっている可能性もあるかもしれないので、確認が顔写真入り相談員パスで不可と言うならば(免許証を駐車場の車まで取りに行かせるならば)スマホ画像も不可にして全員免許証原本での確認にしないといけないはず。次回は必ず改善して下さい。
- あと約何分で休憩とかの目印やかけ声があると、生徒たちにも伝えやすかったです。

良かった、来年も続けたいこと

- 土手の事前除草(行政)
- 当日の草刈り、看板設置、市立柏～流通経済柏の間で歩道の狭い箇所での誘導コーン
- 折れた竹への臨機応変な対応
- 静かに歩くところの周知、先頭と末尾のタイム差連絡など
- レンタカー屋(自家用車との入れ替え、貸し出しや返却の時間帯)
- 1グループあたりバイク3人体制(今回の1グループ規模:歩行者約150人)
- 田中北小交差点の誘導(わかりやすかった)

改善できること

- 当日の草刈りでのほうきとちりとりの用意
- 全体会欠席者へのフォロー、情報共有
- 土手中央への入り口の案内ライトを早めにつける
- 看板の取り付け方法と必要な資材の再確認(単管パイプなど)
- 16号歩道橋渡った先の流経の道へ合流する角を誘導ポイントに加える
- バイクや救護車が歩行隊列に近づく時のスピードダウン
- スタート受付時に免許証確認があることをバイク隊へ事前に周知

検討事項

- 当日の草刈り作業の軽減。草刈機の導入
- 私有地から伸びている雑草への対応方法
- 看板の文字と矢印をもっと認識しやすくする方法(ライト含む)
- 休憩所まであと何分、という目印や掛け声のやり方

<夏つど部の運営>

良かった

- googleドライブを上手く活用して色んな事を必要な時に確認出来たのは良かったと思う。
- Googleホームで各情報を共有管理できたのはよかった。すぐに対応できなかった際や、必要な際に振り返ることができたので助かりました。

改善/要検討

- 通しで時間が長すぎて生活的に厳しく感じた。夏つどの集まりはある程度話が固まってきたよでも、もう少し短縮しても良いと思った。

良かった、来年も続けたいこと

<input type="checkbox"/> Googleドライブでの情報共有
改善できること <input type="checkbox"/>
検討事項 <input type="checkbox"/> 夏つど部の活動全体における拘束時間の短縮化

<救護>

良かった

- 救護要請の仕方が今回初めてのやり方でしたが、自学区の救護要請は大きな問題なく出来たのではないかと思います。
- (歩いていて)救護車の姿がチラチラ見えるのは安心感があった
- 体調不良のお子さんにも迅速に対応してくださり、ありがとうございました。
- 救護要請してからのピックアップがとてもスムーズでした。
- 本部救護でのサポート&ケア&復帰勧奨は、大変効果的でスムーズでした。
- 各グループ2台体制をとって良かったです。足りない位の要請はありましたが、どうにか回してもらえ助かりました。これよりも台数が少なかつたかなり厳しい運行になったと感じております。
- 高温多湿のせいかはわかりませんが、例年以上に救護件数が多く、慌ただしかったです。でも、みなさん休憩後、体調が良くなったようで、安心しました。
- 救護車がよく見回ってくださっていたのでいつでも乗れるという安心感がありました。
- 救護された生徒間で、休憩するスペースがないことがわかっている生徒は、次に来る生徒が休息できるように隊列に戻ると希望して場所をあけてあげていた。ブランケットをたたんだり、同じ時間に救護された年下の子を心配したり優しい生徒ばかりで嬉しかったです。
- 待機スポットで応援していると、子どもたちや同行者のみなさんが疲れていつつも手を振ってくれたこと。特にラストの直線。
- 救護が多かったけれども、大きな事故や怪我人などが出たりせず本当に良かったと思います。
- 救護要請カードは仕組みとしては良かったのではと思う。来年も活用したい・・・(がセンターの電話番号が使えなくなることに今気づいた。来年も作り直しかも涙)

改善/要検討

- 救護者の名前などを記入する紙を準備していただいていたのですが、当日は忘れてしまいました。申し訳ありません。ただ、終えてみると確認は必要だけど、書くまでもない？かなとも思いました。(同乗者)
- コロナ禍に於ける子供達の体力低下と気温(高温ではなかったですが、やはり暑かった)により、救護者の人数が多かった。救護車と本部救護の体制を強化すべき。
- 救護本部が 大変そうでした。人員増が必要なんじゃないかなと思われます。
- 今回は全体的に救護が多かった。部会で救護原因を把握して次回の対策を検討しましょう。
- 救護要請カードを首から下げずにカバンの奥にしまっていた方がいた。実際の救護時にもそれを見ずに救護発生し混乱があった。同行の救護要請のやり方の徹底が必要と感じた。(Bグループ)
- 救護要請がここまで増えたのは想定外だったと思う。気温の関係もありそう。救護系の増強が必要か要検討？
- 救護の連絡窓口が足りなかったかもですね。救護車が目の前にあって、空き状態なのに、乗っちゃダメ的な状況がありました。参加者枠の増加に向けて、救護体制の強化が必要かもですね。
- 台数の増加というより1台に乗れる人数を増やす必要アリかもです。女子はまとめて3人の「連れ救護」になってみたいなので。「連れ救護」も楽しそうなのですが、本当に救護が必要な人の対応や、同行者を隊列に戻す対応を、十分に行うためには、費用と時間と人の手間が発生します。甘やかしすぎても、子供たちのためにもならないです。難しい！(休憩所担当)
- レンタカーがデリカD5でやや大きすぎた感じがします。ちょうど良い車種があれば一回り小さい方が良いと思います。(救護車)
- 全体数からみると救護された生徒が多いと感じました。
- 救護される生徒が多く、センターの自動ドアの開閉回数も多いためか、虫(蚊やゴキブリ)が入ってきていました。

- 救護に関してロスがあります。ちょうど土堤中央で、救護が必要とする子供が出ていました。ちょうど救護車がその場にいますのに、なかなかセンターからその救護車に指示が来なかった。センターからの指示が来なかった事で同行者がその場で待つ事になりました。他の救護が必要な子がでてきましたので、一台の救護車に乗り切れず、同行者は隊列に戻るのに走って隊列に追いかける事となりました。センターの反応が早ければ、そんな事になりません。(Cグループ)
- 救護で作ったLINEのグループが救護ケアと配車と2つあったのですが、名前が似ていて紛らわしく、間違っ
て投稿してしまったり、その後も何度か交互に確認しながらの記入となってしまった。
- サブリーダーの役割から気になったのが、同行の救護担当者の戻し方です サブリーダーは原則最後尾で
すが、救護後に後ろから同行に追いつかれることが数回ありました 特に連絡もなく後ろから戻されると、最
後尾より後ろに同行がいることになり、同行の位置が把握できなくなります 救護後の同行は必ずグループ
の先頭に戻し、前から後に戻ってくる形にしていきたいです
- 資料がいろいろあり混同しました。(救護同乗者)
- こんなに救護が出るとおもわなかったので、Cチームだけを担当するのだと思い、Cが休憩中、気を抜いて電
話に出られずすみませんでした。
- 例年に比べ、搬送者が多いとお聞きしました。原因について、生徒の体力不足が原因なのか、当日の天候
が影響しているのかなど、分析はしておいた方がよいと思います。来年度の搬送者数を減らすためにも、準
備できることはしておくことが重要だと考えます。
- 同行の方が直接、救護してほしいと言ってきたのに本部に連絡してほしいというのは少し気がひけるので救
護の場合は必ず本部に連絡してもらうように徹底してもらいたかったです。
- 携帯によっては電波の悪いところがあったので止まるように言っというて運転手に連絡しても良かったと思
います。
- 今回救護要請が多かった為、本部がバタバタしてました。
- 救護車、今年は異常事態で、クタクタになりました。本部統括も大変だったと思いますが、今年は仕方なかつ
たよね。
- 救護車ですが、運転者と同乗者の役割分担を、明確にしておけばよかったように思います。
- 救護で弁天下や土手で女性と女の子達だけを残していくわけにもいかず、救護車来るまでバイク隊で1人見
守りつけられて良かった。
- 救護車さっき送いたのに、、と言う救護要請が多かったので、救護したら要救助者状況見て、余裕があつた
ら急いでセンターに行かない方が効率は良いと思う。

良かった、来年も続けたいこと

- 今年の救護要請の流れ、救護要請カード
- 救護発生時のスムーズな対応
- 救護車の台数(各グループ2台体制)

改善できること

- 救護用LINEグループの名前、使い分け
- 同行の救護付き添い人の戻し方(隊列の前から戻す)
- 救護車は他チームの救護にも回るかどうか、そのやり方の事前周知
- 同行は、救護要請は本部に行くことの徹底(救護車へ直接ではなく)
- 救護本部での虫対策

検討事項

- 救護チームの資料をわかりやすく改善
- 救護車の運用で使う紙など、記録が必要な情報の再整理
- 今年の救護者増加の原因分析
- 救護体制の強化(救護本部の人数? 電話回線? 救護車の台数? 救護車のサイズ?)
- 救護が増えて追いつかなくなった時の対策(ヘルプ要員、増強時のやり方)
- 救護同乗者の携帯電波状況の確認、電波が悪いエリアでの待機を避けるやりかた
- 救護車の運転手と同乗者の役割分担の明確化?
- 救護待ち(同行+生徒)が暗いエリアに残されることへの対処方法(バイク隊でケア?)
- 救護発生状況に応じた、救護車の動きの変更(すぐにセンターに戻る or 戻らない)

<同行歩行>

良かった

- 当日はしっかりと対応いただいたので、安心して同行できました！ありがとうございます。
- 全員でゴールが出来たことに感謝です。念入りに下見をして下さったこと、当日無理をしないこと、させないことへの意識付けが徹底されていたことがあの達成感を味わってくれたんだと思います。
- 女性の同行者、教諭がいたので、生徒も安心できていた。救護所などでも同様に。
- 下見に参加していない人達も問題なくゴールできたので良かった
- ゴールの子供達の笑顔は嬉しかったです
- 女子と結構話が出来て楽しかったです。（注：女性同行者）
- 子どもたちのがんばる姿、無邪気な姿は何より自分の励みになりました。
- 最後のみんなの笑顔が素敵でした！弱音を吐かず(足の痛みの訴えはありましたが)最後まで前向きに歩いてくれました。ゴールした後のみんなのやりきった顔がよかったです。
- 大人、子どもともに、無事歩ききれて良かったです。
- 自分も2度目の本番だったので、落ち着いて出来たと思う。休憩場での点呼やその報告についても、前回よりも慣れたせいか無駄なく戸惑う事なく出来たと感じた。
- あけぼの山付近で見た流れ星。星が綺麗でした
- 真っ暗な土手で、子供達が大合唱。あつという間の9キロでした。
- 日の出が綺麗で、それを見た中学生が歓喜をあげたこと。元気をもらえた。
- 子どもたちのやりきった姿。学区全員完歩できたこと。相談員の組織力・一体感が感じられたこと。
- わかば学級の生徒が自分の意思で歩き続ける、今どういう状況でどの程度になったらワープするを判断、決断してゴールしたこと
- 同行で救護フォローしていただいた柏の葉の皆さん、西原隊列の後ろでスローペースと隊列の伸びを許容していただいた松葉の皆さん、ありがとうございました（西原中）（注：今回は柏の葉と西原で合同で同行の隊列を構成）
- 初参加同士の子供たちが仲良くなるのもお手伝いできて、間近で見ている心がほっこりしました。チームの一体感が楽しかったです！
- これまでのノウハウがしっかりと受け継がれていると思いました。
- 土手で楽しそうに騒ぐ子供達、そして最後の柏中までの直線で黙々と頑張る子供達を見て、大変だったけどやって良かったと思いました！
- 相談員の皆さんが笑顔で振る舞われていることが素敵な事だと感じました。
- 相談員のチームワーク素晴らしいと思いました！子供達も根性で完歩してくれて本当に感動させてもらいました。
- 子ども達が案内をしてくれていた中に被り物をしていての方を見つけると喜んでる姿があった。疲れていても楽しい気持ちになれたんだなと感じた。
- 当日の運営がとてもスムーズで、入念に準備されたことがわかりました。
- どこに危険箇所があるか、覚えていた。
- 生徒とコミュニケーションがとれたこと。
- 点呼は、しつこいくらいかと思いきや、生徒は意外に協力的だった。
- 子供達とじっくり話せたことでお互い励みになりゴールが出来た。歩いている中で一人一人、子供たちの成長を感じて嬉しかった。
- 三中生は47人もいたけれど、大きなアクシデントやトラブルなく、ほとんどの子が完歩できたこと！楽しそうにおしゃべりしながら歩いていたこと。
- 初参加で本番ぶっつけで歩いたので、より生徒の気持ちに近いです…。足が痛いという男子生徒と歩きましたが、帰りたいたいと言いつつも、後日の旅行のために頑張る、休憩所まで頑張るという気持ちで歩いていて、最後はみんながゴールできて本当に嬉しいです。
- 土手沿いをこども達と歌を唄いながら歩いたこと。完歩したこと。
- 解散して帰路についてるAグループの子どもたちが、まだ歩いている私たちに、お疲れ様です！頑張ってください！等笑顔で声をかけてくれたのが嬉しかった。ONHを通して、子どもたちすごくコミュニケーションが取れるようになるんだと感じた。学校内で知らなかった子と友達になったり、他校の生徒と歌ったり、素敵だなと思いました。
- 前回は歩くことで精一杯で、子どもの様子を見るのが十分出来ていなかったが、今回はたくさん会話したり、やっと同責らしい動きが出来ていたと思った。歩いていて楽しかったです。

- 元気な子どもたちが、誘導してくれる方、休憩所に居る方、それぞれに元気に挨拶、また、お片付けをしてくださっている姿を見て、感動していました！一緒に歩いて居て、とても幸せな気持ちになりました！本番でしか味わえない感動、最高です！
- 中3の子から、クラスや部活の違いで交流出来なかった友達と、中学校の最後に本当に楽しく過ごせて、参加して良かったです、有り難うございました、というお言葉をいただきました
- コロナの影響で子供たちは、みな初参加だったので一晩中歩く事で自分の体力を知る事が出来たと思います。
- 4年ぶりの開催＋大人数で不安もありましたが、皆さんの事前準備のお陰でトラブルなく全員完歩できました。本当にお疲れ様でした！
- 初めての本番で、参加者と共に歩くのがたいへん楽しかったです 異常な暑さでしたが、下見よりも疲れを感じませんでした 本番を迎えると非常に緻密な計画・準備とともに、みんなで作ったイベントだと改めて実感しました ありがとうございます

改善／要検討

- 歩行後半、疲労もあり隊列に大きく間隔が空きがちになってしまった。声がけしてもやはり足が動かない気持ちもわかる
- 最後の方は中学生が隊列を守れずバラバラになっていました。
- 信号が変わりそうな時に、生徒が急ごうとするのを止めるタイミングが難しかった。点滅したら止めるなど、対応を統一すると良いと思った。
- 3人グループでできている子が多く、2列での隊列を組むのが難しかったです。
- 配送センターが密集してる地区ではトラックの行き来が深夜でも続くので、該当地域に入る事前に注意喚起を行う等の配慮が必要と思いました。
- 休憩所で騒ぐのは禁止した方が、休める人が増える。寝ている人がいる所で騒ぐのは違う。って事を教えてあげないといけない中学生がいるって事に驚きました。(Cグループ)
- 休憩場所でも子ども達が休まず遊んでいたこと(驚きました)
- 持ち物に、うちわなどの仰ぐものがあると良かったとおもいます。子供達が持ってきた軽食ですが、全く足りずに分けて貰ってる子がいましたので、持ってくる目安がしおりにあるといいですね。
- 湿度が高くかなり汗をかく状況でした。脱水症状の子供もいた為、水分だけでなく塩分も無理やりでも取る必要を感じました。
- 休憩明けの出発時に学区間の距離が数秒でも空いてると歩行ペースの調整がしやすく、より楽に歩行できると思いました。間が空いてないので、中盤～後方の学区の間隔がキツキツになってしまい、歩行スピードの調整に体力を使いました。(詰まってペースが極端に遅くなったり)
- 要救護者のあぶり出しに隊列のストップという禁じ手を使ってしまいましたが、それでも要救護者を見逃してしまい反省です。最後、牛歩のようになってしまった子については、あの時、強制救護してたらもう少し良い状態でゴールさせてあげられたなあと感じます。
- 土手で音楽をかけていたが、良いのかどうか判断の難しいところだと思う。(Bグループ)
- 土手を歩く際に音楽をかけて歩いている学区があった。あれはあり?? ありなら次回から公に許可して欲しい。(Bグループ)
- 隊列が分断されることが多かった。最後の方で子供達が足を痛めることが多かった。
- 先頭を歩きました。ペースの遅れた子に合わせるか、ペースを守るかで迷いました。
- 布施弁天を越えて大利根バイパスに向かう土手のところから大声で叫び始めた学区があり、あの場所はまだ住宅地に近く、騒音が届いてしまうエリアなので、利根川横の土手直前救護確認エリア以降に大声を出しても良い旨、意思統一した方が良いと感じます。
- 信号で隊列が離れた時、待てばいいのか先に進むのが正解なのか、意思統一がハッキリしていなかった気がします。
- 離れた時、ルートを把握出来ていない方が多いと感じたので、指示誘導方法は再考していただきたいと感じました。
- 後半になってくると先頭に着いていくことができず、隊列が分断しているところが多くなった。子ども達からは「これ以上早く歩けない」との声があがっていた。救護程ではない子どもへの対応が難しかった。
- 学区単位で列が離れてしまったことが気になりました。学区でまとまっていれば良いのかどうか？
- ペースが遅れた子どもを救護してもらおう判断が難しかったです(本人が言い出さない、聞いても返事がない等)。
- 隊列で歩いている時、どうしても前の人との間隔がどんどん開いてしまうことが多々あり(信号やアクシデントではなく)声のかけ方が難しかった。具合が悪そうではなく、急いで前についていこうという感じでもなく友達とおしゃべりしながらゆっくり歩いてしまうのでできれば促したいけれど、「前にしっかりついていこうね！」

と何度も声かけするのはお互いストレスになってしまうし、そう声かけすると走って追いつこうとしたりしてペースが乱れてしまうので、上手な声のかけ方やタイミングが難しかったです。事前説明会や歩き始める前にしっかりと伝えていただければ意識してもらえるようになるのかなあ??と感じました。

- 最後のストレートで、前の学区の子が遅れ始めると詰まってしまう 最後はかなり辛くなるので後ろか急かすのも可哀想だし、かといって頑張ってるのに抜かして救護されるのも可哀想だから、最後のストレートは抜かすのもありにしてはどうでしょうか？
- 学区先頭の方は下見をしていないと本当に怖いと思った。
- 協力者はどう子どもへ声かけしたら良いのかよく分からないことがあるので、(間隔が開き始めてきた場合など)もっと細かく説明しておけば良かったと思った。もしくは、協力者が完全に道を知っていれば、慣れている相談員が、真ん中あたりに入るのもありだと思った。
- 歩き始めて早々に隊列が分断されてしまい、結局先頭に待ってもらい合流することにしたが、そのため前の学区と距離が開いてしまったので、判断が正しかったのか悩んだ。
- やはり子どもが一緒だと、すぐに追いつけるはずの距離が縮められなかったり、十分頑張ってる子に頑張ってるの声かけはかわいそうだし、言葉の選び方も難しいと思った。
- 眠気でどんどん遅くなる子がいて、本人はまだ歩けるというが、やはり救護を決断するタイミングが難しかった。
- 歩き始める前に、学区ごとに1分半ずつ間隔あけて出発すると聞いたが、実際は前学区くっついたまま歩き始めた。
- 最初はみんな元気にあいさつしていたのに、最後の頃になると「あと少しだよ」というとこどもに「うそつき」と言われました。声かけ方法も考えなきゃなって反省しました。やっぱり一緒に歩かないとわからない思いもありますね。
- 事前にもっと長く歩くための秘訣(厚手の靴下を履くとか2枚履くとか、足の爪はちゃんと切っておくとか、替えの靴下を持ってくるとか、睡魔に打ち勝つために緑茶やコーヒーでカフェインを摂るようにするとか...摂りすぎて終わってから眠れなくなると困るので、摂っても1時か2時までとかも合わせて...)など熱中症対策以外の足痛や眠気対策法もしっかり伝えておいた方がいいと思いました。
- 子どもたちの腕に学区名と名前が書かれた腕章みたいなものを付けてもらえばすぐに誰か分かるので良いのではと感じました。(体調悪くても答えなくていい)
- 30km歩くには、子供達のシューズの履き方が酷いと思いました。毎年足が痛くなり完歩出来ない子供達いると聞いてますが、靴紐が緩い状態で30kmもの距離を歩けば、そう言う子供が出て不思議では無いと思います。痛くなった後のケアよりも、先ずは痛くならないようにアドバイスをしてあげて欲しいと感じました。相談員の方々の中でも何らかのスポーツ競技をされている方は少なからずいらっしゃると思います。其々の競技をする時、どんな履き方をしているのか思い浮かべてもらえれば分かっていただけなのでは無いかと思います。それが原因の全てでは無いと思いますが、少しはリスク回避となるかと思います。(Bグループ)
- 事前説明会で服装について長ズボン推奨してもしっかり説明していても短パンでくる子が多く心配になりました。あとは自己責任になるのだけれど、推奨しているのなら相談員さん自身も見本となるような服装や装備を心がけた方がよいのかな?と感じました。
- テーピングはしませんでした。生徒たちにもサロンパスを足の裏に貼ってもらいました 自分も貼ったおかげか、本番は下見のときよりも脚の辛さが軽減されたような気がします テーピングより簡単なので、お勧めです
- せっかく参加しているのだから、リタイアが出ない様に靴の選定や事前の体力作りに関してもっと押し付けても良いのでは？

良かった、来年も続けたいこと

- 合同歩行隊列(同行人数の学区間での支援)
- 経験者による同行のノウハウの共有
- 相談員の一体感、チームワーク、終始笑顔
- 入念な準備とスムーズな運営
- 危険箇所の事前把握(下見での経験・事前の情報共有)
- 生徒とのコミュニケーション
- 下見会への参加の促し(歩いていないと大きな不安要素)
- テーピングや湿布の貼り方などのノウハウ共有

改善できること

- 信号を渡るとき指示の徹底(点滅し始めたら渡らない)
- 休憩所で騒ぐ生徒への対処(休んでいる生徒への配慮)
- 十余二のトラック出入りが増えるエリアでの注意喚起
- 1列や2列の隊列の維持、声掛け
- 生徒へ水分だけでなく塩分も補給するように強く促す
- 騒いで良い区間とそうでない区間の把握、生徒への徹底
- 下見会でルートを知ることの重要性を同行・協力者へ強く意識付け
- 協力者への事前の同行ノウハウの共有(全体会＋必要に応じて学区でも)
- 「休憩所まであと何分」の把握と必要に応じた生徒への声掛け(通過連絡ポイントは休憩所まで約30分の地点であることを同行全員が把握するなど)
- 熱中症対策以外の足痛や眠気対策のコツの共有、生徒の靴の履き方の改善

検討事項

- 生徒への救護の促し方
 - 上手くできた: 当日無理させないことを同行メンバーで徹底していた?、どの程度消耗したら救護するかのイメージを共有できていた?
 - 上手くできなかった・悩み: ペースが遅れだした生徒の扱い、何度も声をかけるとストレスになる?、生徒への声のかけ方やタイミング、生徒の救護に対する意識付け(無理させないように仕向ける?)、救護するほどではない生徒への声掛け
- 隊列の維持
 - 信号で分断されたときのリカバリ方法(無理に追いつこうとしない、先のグループが待つ or 待たない)
 - 最後の柏中通りのストレート(学区内や学区間で間隔が空いてしまう、後ろから追いつかれてしまう、前の学区が遅れてきてペースダウン、学区の追い抜きを許容する or しない、)
- どうしてもコースを覚えきれていない人に対する支援策(分断時に先頭になったときのガイド、Googleマップ?)
- しおりの持ち物へのうちわなど暑さ対策グッズの追加
- しおりの持ち物への軽食の分量目安の追記
- 歩行隊列の学区間を少しでも空ける(歩行ペースの調整しやすさ)
- 土手の歩行時に音楽をかけて歌うことの是非、やり方
- 生徒に学区名や名前が書いた札や腕章などを身に付けさせる(救護対応のしやすさ、休憩所・隊列が乱れたとき・解散時などの識別しやすさ?)
- 「長ズボン推奨」の再考(今年は長ズボンはきつかった? 気温に合わせて各自考えれば良い?)
- 生徒への靴の選定や事前の体力づくりを促す

<暑さ・開催時期>

改善／要検討

- 当日、風がなく、歩行中、休憩中ともに、湿度が高きつかったです。
- 去年マスクをして行っていたらと思うと恐ろしくなります。今後行うとしても時期の見直しは必須かと思えます。
- マスクを着けて歩いていた子もいましたが、その子達は大丈夫だったのでしょうか。
- かなりの暑さと湿度でしたので次回は時期をずらしてやるのもいいのかなと思いました。
- 今年初めて本番を歩きましたが、練習よりも暑くしんどかったです。体の痛みより暑さには勝てないなと思いました。
- 今年は特に暑かったかと思いますが、実施時期をもう少し涼しい時期にして貰いたいです。
- 抜本的に涼しい時期に変更できないか。春や秋など。下見第一回目や二回目の時期は、気候的にとても歩き易かった。
- 真夏ではなく開催時期を変更してもいいのではないかと思います。
- 今後のことを考えると、開催時期は夏休み開始すぐなどが良いかもしれない。気温の問題だけでなく、通学や日常で日々体を動かしている時期の方がバテのリスクが低そうな印象
- 夜間とは言え夏の開催は無理があるのではと思いました。
- 今年は夜でも涼しくならず(無風、高温多湿)つらかったです!!

- 夏の開催を考えるなら、やはり暑さというものがつき回ると思います。4年ぶりとはいえ、今年は夜間でも暑かったと感じました。次年度、大変と思いますが、プラスワンとして暑いに対する考えも加えてもらえるとうれしく思います。

検討事項

- 開催時期の見直し(暑さと湿度の低い季節)
- 暑い中、マスクをつけて歩いていた生徒への声かけ方法

<開催時間帯>

改善／要検討

- 朝の日差しが辛い(Cグループ)
- 最終ゴールの時間は、暑くなるのであと30分くらい早いといいと思います。(Cグループ)
- 10時半スタートだとゴールのときに太陽がきつい。30分でも早めると最初が暑くなるのだろうか。
- 朝日が出てからの歩行はかなり辛いです。眠くて、暑くて、お腹が空いて、、、。(Cグループ)
- 気候のせいかわかりませんが救護要請が多かったためCの救護が少なかったなら、開始時間30分程度、遅らせるのもアリかと思う。(注:救護数の観点での逆のご意見)
- 太陽が出る前に全員ゴールできるタイムスケジュールを。過去には800人の参加者でA~Dグループでやれたこともある。400人規模で2グループ制がリーズナブルと考える。参加者の1割が救護された事実を踏まえ、人数規模に拘らないで次回検討をお願いしたい。
- 気温に逆らう事は出来ませんが、日の出後の気温については余りにも暑すぎるため、開催時間やグループ編成を再考する必要があるかもしれません...

検討事項

- 朝日が出てからの歩行を極力減らすタイムスケジュール(歩行開始を30分でも早める?グループ数を減らす?過去実績からは400人/グループの2グループ制でも可能?)

<休憩所>

良かった

- トイレが校舎内でも使えるようにしてくれたので混雑緩和で助かりました!
- 同行から見て休憩所運営は素晴らしかったと思う。
- 校舎のトイレは1階のみで充分でした。(休憩所B)
- 休憩時間が予定より短いのかも?と思いましたが、逆に長いとモチベーション下がる気もするので今回くらい良かったのだと思いました。
- どこに行ってもスムーズな動線でした!
- 初めて休憩所の係をさせて頂き、裏方の動きが知れたのは良かったです。みんなで作っているんだなあって改めて感じさせてもらいました。
- 休憩所で皆様に温かく迎えいただきありがとうございました。灼熱の体育館をちょっと恐れてましたが、結構涼しかったです。有り難うございました!
- 受付の前を笑顔で通過する子、疲れ切ってへとへと顔の子、たくさんの想いの顔が見れました。飛び跳ねて入ってくる子もいれば足を引きずりながらの子もいました。「お疲れ様!」と声をかけることしかできなかったけど、その顔その姿に感動しました。
- 子どもたちの頑張りに思わず涙が出てきました
- 個人的には休憩所の皆さんと協力して楽しく活動できて良かったです。
- 休憩所で係の人が子供達に声掛けしてるのは凄く子供達には勇気付けられたと思います
- 休憩所から再び歩き出す中学生が、行ってきます!と一声掛けてくれたのが次の気力になって良かった。

改善／要検討

- 休憩所の準備備品リストを作りましたが、休憩所AとBで違いがあり過ぎて時間がかかりました。A,B固有の部分以外はできるだけ統一すべきと思います。
- 休憩所・本部・救護に関して、本番前1週間で行われた準備作業の多くが、経験者の経験に依存しているところが多いと感じた。経験者の知識をもっと引き出して誰でもできることを増やす、休憩所AとBのやり方を統一できるところは統一する、など時間があるときに来年に向けた準備をしていくべき。特に休憩所運営はノウハウの塊なので、担当者が今年感じたことをちゃんと来年に活かせるようにしたい(と横でみていて思った)。経験者の協力が必要。
- リーダーのみに仕事が片寄っていて気の毒。リーダーの補助の夏つど部員を3人位着けるべき、せつかく集まっても何をしていいのかわからずもて余す時間が多かった気がします。
- 事前準備などで、責任者と同じ指示を出せる人がいると指示待ち時間が減らせるかなと思った。
- 休憩所に、夏場にリュックへ入れて持ち運ぶのにリスクなチョコレートとか置いていただけるとうれしいです。
- 今年は暑さと湿度がすごかったのもありますが、休憩所での冷え冷えグッズがあると助かるなあと思いました！
- 休憩所がもう少し涼しいとうれしいです。風が通る体育館は涼しく感じました！
- 受付が常に持って移動するBOX、ゴールで回収するもの 洗濯回収袋(タスキ、バイク隊のベスト)、使用・未使用回収用袋orBOXが必要だと思いました。
- 各学校の人数を把握した上で休憩する箇所の広さを確保に配慮できず。
- 市柏では楽天のスマホの電波が繋がらない。(一人が繋がらない場合、ペアどちらともにも連絡取るようにするとか?)
- 今回は体育館内がとても暑かったので、休憩所の係も熱中症対策が必須と感じました。
- マイクとメガホンがあったのですが近隣に迷惑でなければ使ったほうが良いです。
- 体育館の時計があってない事があります(置き時計持っていくと便利です。)(休憩所B)
- 到着受付同責のチェックカードがなかったので作業が楽になったのですが、前のポイント出発時の人数がわからず、増減してるかどうかわからなくてちょっと不安でした。(本部さんが管理してくれているので大丈夫だと思うんですけど)
- 休憩所でしたが、とにかく外より暑くてもっと熱中症対策をすれば良かったです。
- 休憩所にアイシング(氷等)あれば良かったと思います。
- 休憩所から出るときに点呼、並ばせてからも点呼があったのですが、多いかなと思いました。理由があるなら、しっかりわかるように担当に周知したほうがよいかもです。
- 市立柏高校のトイレが汚かったので、事前の掃除が必要だと思います。
- 休憩所に到着時、担当学区が続いて到着してしまい...ちょっとバタバタしてしまい続いている学区担当は、大変だと思いました。
- 校舎へのトイレの案内がもう少し大きな声でアナウンスしてくれると、わかりやすかったかと思いました。
- 1期目で全てが初めてでした。休憩所担当でしたが、全体会后にLINEでデータがきましたが、良く分からなかったのであまり読み返しませんでした。何をすれば良いか具体的に全体会で説明してくれた方が良いと思いました。当日とりあえず来て、指示に従ってテキパキ動けばいいかという気持ちで参加しました。3時に柏中に到着すると、岩淵さんから指示があり良かったです。むしろ、誰もいないかと不安でした
- 拘束時間が長く、ずっと動いていたせいか熱中症になってしまいました。来年は、冷えピタとか熱中症対策しなければ!と思いましたf(^_^;

良かった、来年も続けたいこと

- 校舎内のトイレ利用(混雑緩和)
- スムーズな導線作りと案内
- 休憩時間(短すぎず長すぎず)
- 体育館内の気温(灼熱ではなかった、場所によっては風が通っていた)
- 子どもたちへの元気な声かけ

改善できること

- 休憩所AとBの準備物の表記統一
- 休憩所メンバーの熱中症対策
- ゴールでスムーズに回収するための回収BOX(使用済・未使用)
- 各学区の必要スペースの事前把握(学区ごとに大きく異なる人数を考慮)

- 市柏での楽天モバイル電波入らない対策(担当者割り当て、ペアでカバー?)
- 置き時計の持参(体育館の時計があっていない)
- トイレ案内時の声の大きさ(もう少し大きく)
- 休憩所担当者向け資料を早く準備、分科会などでの口頭説明の実施(データを流すだけでなく)

検討事項

- 運営の中心となるリーダー格の育成、増員
- 経験者の休憩所ノウハウの蓄積(適度な文書化?)
- 休憩所での物資(アイシングや冷え冷えグッズ、チョコレート)
- 体育館内でのマイクやメガホンの利用(騒音に考慮しつつ)
- 出発時の点呼の回数(人数によっては多すぎると感じることもある)
- 休憩所での各学区の人数把握の考え方(スタート~ゴールの人数推移を把握する必要あるか)
- 市柏のトイレ事前清掃

<保護者との連絡>

改善/要検討

- 電話を嫌がる保護者や、電話には出でくれずショートメールだと返信がある保護者も多いので、初めからショートメールでも良いのではないかと思います。

検討事項

- 保護者への連絡の必要性
- 携帯電話の場合はSMSで良いとするか

<本部>

改善/要検討

- 朝方頭が働かなく柏中のサブの方を見落としていて、具合悪かったとのことで仕方ないですが、Bグループから柏中のゴール担当連絡が繋がらなく焦りましたが、広報の方の連絡網で助かりました。
- 役割間の連絡内容とタイミングの表
<https://docs.google.com/spreadsheets/d/1QJVNd76oTpQLIKU8DU6N0RHg34h0jDj1/edit#gid=1183761027> は、今回の経験を踏まえて精錬させて、重要資料としてしっかり来年以降も残していきたい。

検討事項

- 連絡網の見直し?
- 各役割間の連絡タイミングと内容のノウハウを文書で残す(各連絡の目的、伝えることは何か)

<スタート/ゴール>

良かった

- スタート会場での誘導担当でした。初めての参加でしたがこの事業に関わる人全てが心ひとつにしているのが言葉を交わさずとも表情から見てとれて感動していました!
- 会長のゴールで、きたよ!きたよ!(遠くに見える子どもたちを発見)っとはしゃぐ声。子どもたちの達成感に満ちた顔。

改善/要検討

- スタートの設置で、横断幕のたるみを解消しにくかったので、設置するタイミングで裏側をプラ板とかで補強すればたるみ無く、見映えがよくなるかなと思いました。

- デッキの横断幕がたるんでしまうので後の真ん中に段ボールを張ればたるまない。脚立があれば良かった。
- 誘導棒が足りなかった。
- 集合後、開会式直前の時間にトイレに行く人が殺到してしまったので、もっと早く行くようにすればよかった。(Bグループ)
- 開会式の並ぶ際、当日ご指摘あったように点字ブロックの上には乗らない・入口を塞がない、これらは前日までに各学区の方で伝達し、共有しておくことが必要かと思いました。
- バイク隊の紹介で名前を間違えられたのが嫌でした。✕横山つよし→○横山たかし
- 柏中ゴールで、ジュースやパン袋を入れるゴミ袋がなかった
- 開会式はもう少し短くても良いかもしれない 夜でも熱を持ったデッキに座って待たせるだけでも気付かないうちに消耗している可能性あり
- バイク隊や、救護の人に水や完歩パンを受付で渡すようにした方が良いと思いました。
- 開会式時にスカイプラザの警備員さんに注意された。次年度も今回程度の理解しか得られないのであれば、場所・方法等要検討。(Aグループ)
- Aグループ開会式時、そごうの入口まで人が広がり過ぎてしまい入口をふさいでいた為、そごうの警備の方より注意を受けました。軒下までがそごうの敷地となるそうです。Bグループ以降は配慮しました。次年度は注意を払い整列につとめていきましょう。(Aグループ出発後、早急に警備員室へ伺いお詫びしてきました)
- 閉会式の部長の演説が長過ぎ。「子供のために、たくさんの大人が動いているから、感謝を込めて」とか、「子供たちのために特別に焼いたパン」とか、押し付けがましいコメントは要らない。(完歩パンなんか、相談員の自己満足だし)
- コース内での動きは色々な側面を見てもみなさんうまく運営出来ていて良かったと思いますが、その分、柏駅の開会式までの対応が緩かった気がします。公共の場で大人数が集まる際の決め事がもう少しまとまっているとより、良かったんじゃないかと思います。
- 閉会式の挨拶は短めで、ぐっと印象に残るものになると更に良くなると感じました。

改善できること

- スタート横断幕のたるみ解消(裏に棒やダンボールを当てる)
- 必要物品に脚立を追加
- 誘導棒の本数追加
- 開会式前のトイレ誘導を早めに実施(同行)
- 点字ブロックを塞がない、入り口を塞がない、軒下(店舗敷地)に入らない、など公共の場で大人数が集まる際の注意事項の徹底(同行も)
- 開会式までの流れの準備の強化(全体的に緩かった)

検討事項

- 開会式・閉会式のさらなる短縮化

<集合>

改善／要検討

- 学区の集合場所にて滞在時間が長く大人数だったので店舗に迷惑を掛けてしまいました。(三中)
- 学区集合が西口ルイヴィトン前だったのですが、警備員を呼ばれて注意を受けてしまったので、来年は場所や周りへの配慮が必要だと感じました。(三中)
- ショップ前を集合場所にしていただけ学区があったそうですが、営業に支障が出るというお店側よりお言葉を受けてしまったと伺いました。場所的に分かりやすいところであったかもしないですが、今後は事前にお店側に了解を得る等、する方が良い気がしました。
- 集合場所では学区が解るようにプラカードなどがあると生徒が混乱しなかったかと思えます。

改善できること

- 集合場所での周辺施設への配慮(同行、各学区)

検討事項

- 各学区の集合場所の見直し(大人数が集まるのに適した場所か)
- 集合場所で学区が分かるプラカードの準備(学区旗は結局利用しなかった?)

<解散>

改善/要検討

- 最後の解散で生徒が他の学区について行ってしまいそれに気づけなかった。
- 解散場所が自宅から遠く離れていて、しんどいと言っていたお子さんが数名いた。(豊四季中)
- 解散場所がマツキヨで、近くにあるのかと思っていたら、だいぶ離れたマツキヨで、自分も含めて、移動が皆辛そうでした。事前に説明があつたらよかつたし、自分もしっかり確認しておけばよかつたです。(豊四季中)
- 閉会式で、解散方法(学区解散場所で解散)をもっとアナウンスした方がよい
- 解散やお迎えが柏中でもよいならば、その旨を伝えて、事前に相談しておいていただけると良いと思いました。

改善できること

- 解散場所への移動時の点呼や隊列の維持
- ゴール後の移動開始時に学区のまとまりを作る動き(順番に出発させるよう誘導するなど)
- 閉会式での解散の流れの周知

検討事項

- 各学区の解散場所の見直し(必要に応じて)

<携帯電話の使用>

改善/要検討

- 休憩所で休む子は休むので、前にも話はでてますが、休憩所内だけ携帯電話の使用可を検討出来ないでしょうか?参加して家帰って何もないと話が盛り上がらないのではと思います。
- スマホの持ち込み禁止を徹底できませんでした。ごめんなさい。
- スマホ持参可、使用不可など、説明会で明確にしたほうがよい。大人は、使ってますし。

改善できること

- 生徒の携帯電話使用に関する周知の強化

検討事項

- 生徒の携帯電話の使用の是非(そもそもなぜ禁止か、使っても良いシーンはあるか)

<協力者>

良かった

- 今回、同行協力者の募集を学区内小中学校の保護者に配信で行った。女性の同行協力者(保護者)の応募があつたことが非常に良かった。

改善/要検討

- 協力者の確保は、やはり課題と思います。一晩中、家を空けられる人は、そう多くないように思います。
- 同行協力者集め。参加生徒の保護者が狙い目。親の心情としても、自分の子供と歩くならやってみようかなという人は多いと思う(自学区もいた)。その後の相談員への勧誘狙いとしても有力候補。

良かった、来年も続けたいこと <input type="checkbox"/> 学区内小中学校の保護者への同行協力者の募集(保護者は狙い目)
改善できること <input type="checkbox"/>
検討事項 <input type="checkbox"/> 同行協力者集めの抜本的な改善 <input type="checkbox"/> 同行協力者集めのノウハウの共有

<撤収／片付け>

改善

- センターでは、どこに何をどのように片付ければいいのかを、答えられる人が限られた人しかいませんでした。その人がいないと片付けができませんでした。ゴミの分別が地域によって違うと思いますが、されておらず、ゴミを引き取るにもゴミを選ぶ状態でした。
- スタート会場の撤収を担当しました。久しぶりの開催だったからか、少し混乱していたのが目につきました。とは言え、皆さん率先して動いていて出遅れまいと着いていくのに必死でした。今回の経験を活かして次からはもっと能動的に動けるように頑張ります。

改善できること <input type="checkbox"/> ごみの分別(集めるときにすでに分別された状態にする) <input type="checkbox"/> スムーズに動けるような仕組みづくり(撤収時の流れの事前検討?)
改善できること <input type="checkbox"/>
検討事項 <input type="checkbox"/> 何をどこに片付けるのか、準備段階で検討しておく <input type="checkbox"/> 片付けに関する経験者のノウハウ共有

<応援メッセージ>

良かった

- 富勢分署の消防メッセージ、嬉しいプレゼントでしたね！休憩所間に何か仕込むのも良いかと思いました(スタート～第一休憩所～第二休憩所～第三休憩所～ゴールの各間に)
- 富勢消防署の方々のメッセージと熱い応援が、とても嬉しかった。
- とみせの消防署での 応援メッセージと 署員の方々の応援。うれしかったです。
- 近隣の方々の迷惑にならないよう静かに歩いていた時に、雨戸を開けてこちらに顔を出して、「がんばれ～！！」と声をかけてくださった方がいて心に残りました。(Bグループ)
- 消防署の応援は勇気づけられたようです。他人に応援されるのは子供たちの励みになるので、後半にもあるとなお良いかと思えます。候補は難しいですが、、、
- 富勢消防署の電光掲示板
- 消防署のメッセージと消防隊の応援、パナソニックさんに掲示されていたメッセージは疲れた子供達の活力となっており、非常に素晴らしい企画でした！
- 消防署や企業が応援メッセージを出していただいているというのは嬉しいですね。
- 布施から橋を渡る時には見知らぬ爺さん婆さんから、土手入口では見知らぬ花火を楽しむ若人達から応援をしてもらいました。稀なケースですが心に残ります。
- 消防局富勢分署やパナソニックショールームの粋な計らいが良かったです。
- 富勢消防署の電光掲示板でのONH応援メッセージ、誠にありがとうございました😊 また、消防士の方々も忙しい中応援してくれて感動しました！ また、柏の葉公園過ぎPanasonicショールームの応援メッセージ

ボード、疲れが溜まり下向き加減の歩行になったので大変元気をもらいました！ありがとうございました



- 消防署やパナソニックの応援はすごく良かったと思います。もしかしたら子供たちよりも私たちの方が勇気づけられたのではないのでしょうか。

改善／要検討

- 市柏からゴールまで暗い雰囲気になるので、声無しでも応援する人がいればいいなと思います。
- 柏消防のお心遣いに感動しました。応援など、ちょっとしたアトラクションがあるのは、楽しいと思うので、他にも増やしてほしいです。

良かった、来年も続けたいこと <input type="checkbox"/> 布施の消防署での応援メッセージ <input type="checkbox"/> PANASONICショールームでの応援メッセージ
改善できること <input type="checkbox"/>
検討事項 <input type="checkbox"/> 応援メッセージの来年以降の継続性、他にできそうなサプライズ応援があるか

<ONH運営ツール>

良かった

- 個人的には無線ツール使用での連絡やりとりは良かったと思います。
- 通過連絡はトランシーバーアプリがうまく機能していた。歩きながらだと音声の方がベターなので、メインをトランシーバー、サブでLINE位置情報にするのが良いかも。

改善／要検討

- 休憩所では到着と出発の人数情報連携などで(Googleフォームよりも)紙ベース運営の方が合理的だとわかった。
- 通過連絡と休憩所のGoogleフォーム作戦を見直す場合、本部による進行記録は旧来通り手動になるが、手書きだと後の集計が大変になるので、せめてスプレッドシートに記録していく方式がベターかも。
- 保護者へのメール送信(学区説明会リマインド、参加費督促、ONH直前情報、アンケート依頼)。良い面:全員に周知する手段がある。Googleグループだと送信時の宛先選択が不要なので楽。／悪い面:メール送信は楽だがメールアドレス管理は面倒。名簿と付き合わせて欠席者を順次消していく作業は改善の余地あり。／Googleグループのデメリット:個人Gmailの設定でGoogleグループへの登録を拒否している人がいた。メールは補助手段ということで今回は結局送信しなかった。
- 参加者一覧
https://docs.google.com/spreadsheets/d/1zV_VzguP4AKm9Osjk5MbeeejGkEvSoqSG_gwhr67PY/edit?usp=drive_link は長く参照するので、作成や更新をもっと効率化したい。全参加者の一覧を先に作って、役割表はそれを自動反映するとか。
- 相談員へ何度も依頼したアンケートフォームも効率よくできないか。数が多くて、作成するのも入力する方も大変。今年流したフォームは計10個、それ以外にLINE上で部会の出欠登録もあった。

良かった、来年も続けたいこと <input type="checkbox"/> Zello無線アプリによる連絡
改善できること <input type="checkbox"/>
検討事項 <input type="checkbox"/> 通過連絡の音声化(Zello無線アプリをメインにするか) <input type="checkbox"/> 本部の運営ツール(デジタル・紙)に改善できる点があるか <input type="checkbox"/> 保護者へのメール連絡のメールアドレス管理方法、Googleグループ以外の手段

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 参加者一覧の資料の更新効率化
<input type="checkbox"/> 相談員へのアンケートフォームの作成・入力・結果確認のさらなる効率化 |
|---|

<ONH申込、集金>

改善／要検討

- 学区説明会で、初めて申込忘れに気づく生徒が数件発生。発生時の対応方法を予め協議しておく必要あり。防止策も要検討(申込完了時の確認方法をわかりやすく伝える、学区説明会には申込したことを証明するチケットのようなもの持ってきてもらうなど)
- 集金の手間軽減の必要性は、今年も感じた。昨年よりはうまく徴収できた感はあるが、それでも回収完了まで2週間かかっている(8/3完了)

良かった、来年も続けたいこと

改善できること

検討事項

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> 申込み忘れの防止策(申込み者が確定したことに気づける仕組み、チラシの表現など)
<input type="checkbox"/> 申込み忘れが発生した人への対処方法を予め検討しておく
<input type="checkbox"/> 集金の手間軽減策 |
|--|